

EU ビジネス環境報告書2020アゼルバイジャン版【概要】

EU は、アゼルバイジャンで事業を行っている欧州企業からみたアゼルバイジャンのビジネス環境を紹介するために、「EU ビジネス環境報告書アゼルバイジャン版」を 2015 年から毎年発行しています。この度、2020 年版が公表されましたところ、概要を以下のとおりご紹介いたします。

同報告書は、2016 年からアゼルバイジャンで実施されている経済改革に重点を置いています。また、2020 年版では新型コロナ・ウイルス感染拡大、ナゴルノ・カラバフ戦争のビジネスへの影響についても評価しています。同報告書作成のための調査は、2019 年 9 月から 10 月にかけてオンライン質問票を使用して実施されました。欧州とアゼルバイジャンを繋ぐビジネスを行っている、約400の欧州及びアゼルバイジャン企業に質問票への回答を依頼し、有効と認められた 123 の回答が同報告書で分析されています。また、同報告書には質問票調査とは別に実施した25の面談の結果も加味されています。

(報告書リンク)

https://eeas.europa.eu/sites/default/files/eu_business_climate_report_azerbaijan_20_20_march_verified.pdf

アゼルバイジャンのビジネス環境の評価

	ビジネス環境の強み	魅力的な要素	ビジネス環境の弱み	ビジネス環境に悪影響を与えている要素
1	政治的・社会的安定性	国内市場	法の支配	COVID-19 による隔離措置
2	インフラ	戦略的パートナーシップ	金融サービスへのアクセス	市場開発における不確実性
3	人件費	国境へのアクセス・自由貿易市場	汚職	ナゴルノ・カラバフ及び周辺の武力衝突
4	経済政策の予測可能性	中間材及びサプライヤーへのアクセス	質の低い職業訓練教育	原油価格の不安定化
5	移住政策	低コスト生産	支払倫理及び規律	官僚主義

1. COVID-19のビジネスへの影響

- アゼルバイジャン政府による新型コロナ・ウイルス対策(規制措置)は、80%の調査対象欧州企業の収益及び売上高に悪影響を及ぼした。
- 調査対象企業の 2020 年の収益及び売上高は平均して25%縮小。
- 60%以上の調査対象企業が、労働環境及び雇用において悪影響に直面。

2. ナゴルノ・カラバフ及び周辺地域における武力衝突のビジネスへの影響

(1) 具体的なマイナスの影響

- 戦争期間、当該地域で実施していた事業を中断。
- インターネットへのアクセス制限が業務を制約。
- 潜在的な欧州の投資家に対してアゼルバイジャンの好感度を引き下げた。
- 戦争長期化の可能性は企業にとって大きな脅威。

(2) 大きな悪影響を受けなかったビジネスもあった

- 戦争中の戒厳令による様々な障害に耐える体力を備えていた。
- バクーを含め、戦闘地域から離れた地域を拠点とした企業は通常通り事業を継続した。
- 既存の欧州のビジネスパートナーはアゼルバイジャンとの協力を継続した。

(3) 新しいビジネスチャンスへの期待

- アゼルバイジャン政府による新規事業等、新たな投資機会に期待。
- 戦争終結後は、政府が経済改革をより一層重視することを期待。

3. 経済改革

	効果的な政府の改革	欧州ビジネスの観点からみる「効果的な改革」の基準	改善を必要とする点
1	ASAN サービスの設立 (行政手続き集約窓口)	手続きの透明性	司法制度
2	税制改正	時間及びコストの効率性	金融制度及び金融へのアクセス
3	関税改正	顧客中心主義	さらなるデジタル化
4	労働及び社会保障改革	官僚的手続きの減少	“グリーン”ビジネスの機会
5		手続き及び指示の明確さ	質の高い労働力

(以上)